がんばる農家さん！ つながる つながる

久井の農業応援マップ

久井の大地と生産者が育てた!! 『こりゃぁ うまい』がギュ・ギュっと

【こだわり栽培】心いきをお聞きしました!!

❶だいこん

(農)清流の郷 泉(戸野 勉 さん)

「水良し、土地良し、気候良し、米も野菜も自信あり」

水・土地・気候の恵みを十分に受けた泉地区の農作物、さぞかしおいしいでしょうね。戸田川水系銅川の源流と肥沃な土地、そして四方を山に囲まれた高原の里山泉は、日照時間も長く、農作物の栽培に適しています。オリジナルブランド「スッピン美人」は、「おでんにも良し・漬物にも良し・煮物にも良し」の万能型の大根です。柔らかく甘みもあり、千切りス根「色白美人」もオススメ。

清流の郷泉 検索

出荷	上旬	中旬	下旬	出荷先
始め			11月	エプリイ・フジ・フレスタ・道の駅みはら神明の里・
終わり	2月			ピックルス・学校給食・ネット販売など

❷かぼちゃ

(農)清流の郷 泉

「かぼちゃが集落を救う」

耕作放棄地（遊休農地）対策の一環として栽培を始めたというかぼちゃ。オリジナルブランド名は「ホッコリ美人」。栽培ノウハウを学ぶため、先進地へ視察にも行きました。

清流の郷泉 検索

出荷	上旬	中旬	下旬	出荷先
始め	12月			スパーク・エプリイ・道の駅みはら神明の里・学校給食・
終わり			2月	ネット販売など

❸赤しそ

(農)清流の郷 泉(宮迫 武雄 さん)

「色良し・味よし・香り良し」

オリジナルブランド名は「赤しそ香」。その名のとおり、香りの高さが魅力で、色も鮮やか。減農薬・減化学肥料栽培が自慢の「赤しそ香」は、色・つや・味の３拍子揃っています。

清流の郷泉 検索

出荷	上旬	中旬	下旬	出荷先
始め	6月			三島食品・エプリイ・JAやっさぶれあい市場・
終わり		8月		JAとれたて元気市・ネット販売など

❹菊・カーネーション

溝上 守人 さん

「元気な花を作ることが大事」

30種類を超える菊と７品種のカーネーションに取り組んでいます。花も生き物なので栽培には気を遣います。特に病気や虫には注意が必要です。真心込めた栽培で、花も人も元気に！

●菊

出荷	上旬	中旬	下旬	出荷先
始め	6月			JAやっさぶれあい市場・
終わり			1月	金の駅みはら神明の里・
				直売など

●カーネーション

出荷	上旬	中旬	下旬	出荷先
始め	11月			JAやっさぶれあい市場・
終わり			6月	金の駅みはら神明の里・
				直売など

❺秋ばれいしょ

(農)フレンドわそう(山根 信光 さん)

「楽しむ農業を」

米づくりの傍ら、６.５反あまりの圃場で、秋ばれいしょ（食用）の生産・出荷に取り組んでいます。収穫したばれいしょは惣菜として食卓に上っています。
法人と取引業者との共同による秋ばれいしょの収穫や、業者が秋ばれいしょで作る惣菜と、法人が作るおむすびで食事会を開くなど、交流を深め、大変ながらも、遊び心も取り入れた楽しい農業を実践しています。

出荷	上旬	中旬	下旬	出荷先
始め			11月	(株)ダイエットクックサプライ
終わり			11月	

❻ばれいしょ(カルビー向け)

久井町産新じゃが使用ポテトチップス

(農)和草・(農)フレンドわそう・(農)たかさご・(農)あぞうばら・(農)おおしも

「収量増がカギ」

５法人連携でカルビーとの契約栽培を行なっています。収穫したばれいしょから、人気商品「久井町産新じゃが使用ポテトチップス」が生まれています。この特産品は、特定のスーパーでしか売られていないこと、また、生産量が限られていることなどにより、うっかりしていると入手できない可能性があります。

●ばれいしょ

出荷	上旬	中旬	下旬	出荷先
始め		7月		
終わり			7月	JA

●ポテトチップス

販売	上旬	中旬	下旬	販売元
始め	8月			
終わり			8月	イズミ

❼肉用牛

(株)久井牧場(奥村 雅彦 さん)

「牛で腸わいを」

かつては「抗の牛市」で栄えた久井ですからね。
肉用牛の肥育と繁殖に取り組んでいます。飼養頭数は500頭。牛は年に１回ほどしか子を生まないため、事故が起きないよう、徹底した管理の下、安全な分娩に努めるとともに、良質な血統維持にも腐心しています。こうした日々の熱心な取り組みにより、毎年開催される品評会では、入賞を果たしています。久井育ちの和牛をぜひ、食べてみたいですね♪

出荷	上旬	中旬	下旬	出荷先
始め				
終わり		周年		全農を通じてＡコープなどで販売

❽もみがらくん炭

1袋200円で販売中

黒郷まちづくり推進委員会

「楽しみながらやっています」

地元の農業法人から提供してもらった籾殻を、いぶして炭にする籾殻くん炭づくりに取り組んでいます。籾殻くん炭には、土壌の酸性を中和する土壌改良効果などがあります。籾殻くん炭づくりは、「地域の人のコミュニケーションの場にもなっていて、作業が楽しい」と話すのは代表の小出愛子さん。農家の方が欲しいときに在庫が切れていないよう、今後も取組みを続けていきます。

出荷	上旬	中旬	下旬	出荷先
始め				
終わり		周年		直売（無人）

❾野菜

小原 一晃 さん

「おいしいと言われることが嬉しくて続けられます。農業は生きがいです」

こんな農家さんがいらっしゃるなんて！野菜のオンパレードです。２反ほどの圃場で、トマト、ナス、きゅうり、じゃがいも、白菜、大根、キャベツ、さつまいも、さといも、ねぎ、ピーナツ、原木しいたけ、黒豆などの栽培・出荷に取組んでいます。収穫した野菜は、旧三原市久井支所の敷地内に設置されている野菜の保管庫に持って行くと、そこからは集荷トラックで道の駅みはら神明の里へ出荷されています。家庭菜園程度でも手軽に出荷できることが、やる気や生きがいにつながっています。皆さんも野菜づくりと出荷、始めてみませんか？

春		秋		冬	出荷先
原木しいたけ など	トマト・ナス・きゅうり・じゃがいも・黒豆・スイカ など	白菜・大根・キャベツ・さつまいも・さといも など		ねぎ・ピーナツ など	道の駅みはら神明の里

❿菊・とうがらし・ブロッコリー

(農)あまのじゃく(泉谷 邦雄 さん)

「加工施設が・・・」

３町５反の圃場で10種類の菊とブロッコリー、そして、とうがらしの栽培・出荷に取り組んでいます。色と形を重視し観賞用とうがらしは、３種類がオリジナル品種です。色・形・開花配方で世界トップメーカーと評価されています。また、自前のフルーツ唐辛子「パプリエッセリシーズ」は国に品種登録されています。今後も登録品種を増やしていきたいとのこと。食用唐辛子の生産にかなり力を注いでいきたいところですが、手作業による加工のため、大量生産に結び付かないのが悩ましいところ。「三原に充実した加工施設がないことが課題」と泉谷さん。なんだかもったいないですね。

唐辛子農園あまのじゃく 検索

●菊

出荷	上旬	中旬	下旬	出荷先
始め	5月			
終わり			12月	産直

●とうがらし

出荷	上旬	中旬	下旬	出荷先
始め	8月			
終わり			11月	大阪市場

●ブロッコリー

出荷	上旬	中旬	下旬	出荷先
始め	12月			甲山
終わり			4月	いきいき村

⓫かぶ

(農)あぞうばら(行迫 政明 さん)

「良質なかぶをお届けします」

蔀原の中でも特に上谷（かみだに）地区というところは火山灰土壌のため、かぶの栽培に適しているとのこと。良質な土壌と清らかな山水が、肌目できれいなかぶを育てます。飲の物がオススメです。

出荷	上旬	中旬	下旬	出荷先
始め			10月	三原合同青果など
終わり		1月		

⓬酪農

久井高原牧場(新舎 和久 さん)

「地域とのつながりを大切に」

50頭近い乳用牛を家族３人で飼育しています。朝５時から作業が始まり、１日２回の搾乳、えさやり、畜舎の清掃などに汗を流しています。
地域の農家が作る飼料麦をえさに使い、牧場から出る牛ふんは牛ふん堆肥として地域の農業に活かされるとともに、耕畜連携による地域資源循環型の農畜産業を実践しています。また、同牧場で作られる牛ふん堆肥は、堆肥コンクールで優秀賞を受賞するほどであり、町外の農家も買い求めに来るということです。

出荷	上旬	中旬	下旬	出荷先
始め				
終わり		周年		広島県酪農業協同組合

⓭そば

そばつくろう会(代表 西 実雄 さん)

「そば打ち体験、してみませんか？」

吉田地区の人々で構成する「そばつくろう会」。４反あまりの休耕田に、手作業で作付けから収穫までを行なっています。「しんどいけどコミュニケーションを図るには良い」と話すのは、メンバーの法堂陽子さん。製粉機の取得が目標です。
収穫後に新そばを振舞う「収穫祭」の再開と、「そば打ち体験ツアーで地域活性化」がコロナ収束後の夢です。

出荷	上旬	中旬	下旬	出荷先
始め	11月			大見ふれあい市場（世羅）
終わり	12月			

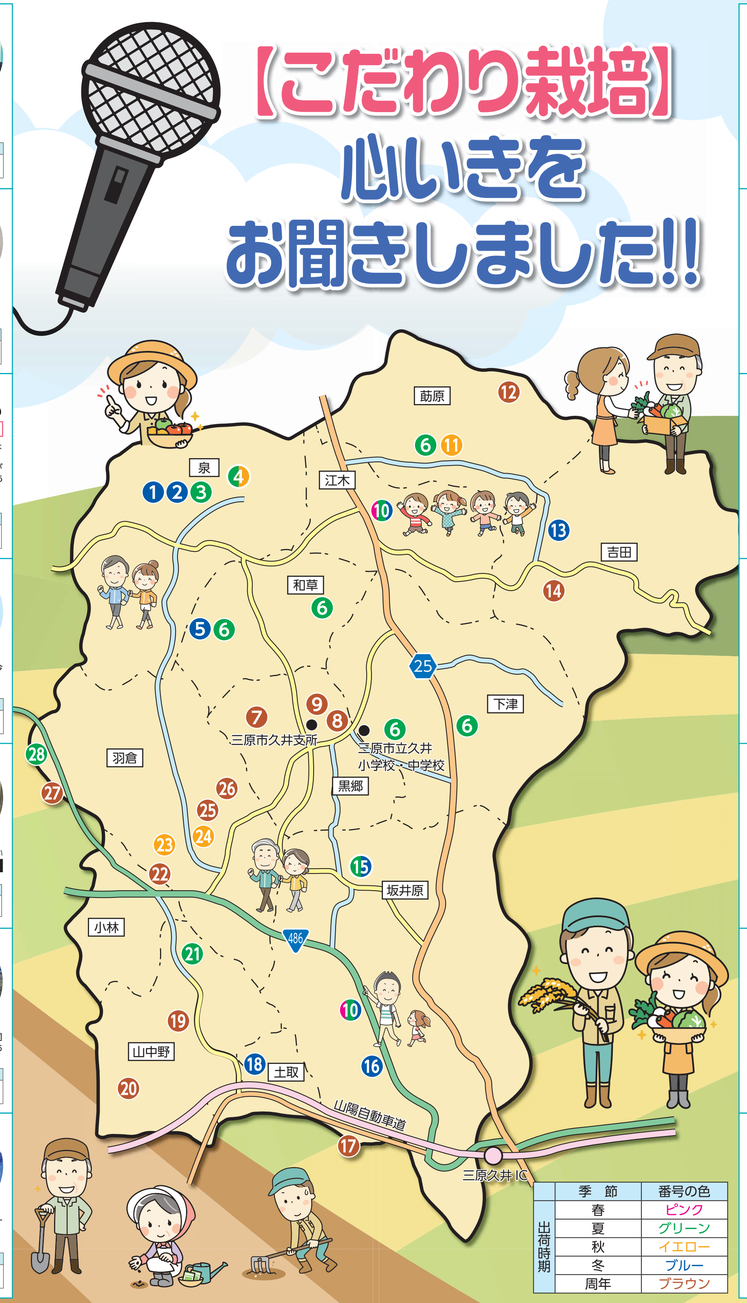
⓮きのこ菌床

中田 由紀子 さん(左)とパートの土細工 美奈 さん

「副業としてオススメです。きのこ農家始めませんか？」

珍しい農家さんです。ナラなどのおが粉などに栄養剤を加えた培地（菌床）で、きのこを育てる菌床栽培に取り組んでいます。菌床の種類は、しいたけ、なめこ、ひらたけ、きくらげ、しろきくらげ、まんねんたけです。培養にあたっては、雑菌の混入、消毒、水分の比率などに気を遣います。桜の木を使ったきくらげの菌床栽培は、中田さんのオリジナルな取組みです。培養した菌床は、市外のきのこ農家などに出荷します。

出荷	上旬	中旬	下旬	出荷先
始め				
終わり		周年		市外の農家など



出荷時期	季節	番号の色
	春	ピンク
	夏	グリーン
	秋	イエロー
	冬	ブルー
	周年	ブラウン

⓯キャベツ・白菜

(農)しもだに(池田 和春 さん)

「米に替わるものを」

２反弱と面積は少ないものの、夏はキャベツ、冬は白菜と、野菜栽培にも取り組んでいます。
野菜栽培をまだまだ広げたい意欲はあります。
「広島名物お好み焼き」にも欠かせないキャベツ。どこかで巡り合いたいですね♪

●キャベツ

出荷	上旬	中旬	下旬	出荷先
始め	8月			ピックルスなど
終わり			8月	

●白菜

出荷	上旬	中旬	下旬	出荷先
始め	1月			ピックルスなど
終わり		2月		

⓰そば

坪川 克範 さん

「趣味に勝るものなし」

仕事勤めをしていたときに、昼食で食べたそばのとりこになって以来、そば づくりに燃えています。手間もかかり、シカの被害も深刻ですが、幅作に不利な圃場（６反あまり）に作付けし、製粉、そば打ちまでこなしています。近所に振る舞う年越しそばも大好評！出会ったらあなたもやみつきに！？

出荷	上旬	中旬	下旬	出荷先
始め			11月	
終わり	12月			JA

⓱酪農

槇元牧場(槇元 昌富 さん)

「何より牛が元気に！乳製品をよろしくお願いします」

40頭近い乳用牛を飼育しています。地域の農家が作る飼料麦をえさに使い、牧場から出る牛ふんは、牛ふん堆肥として地域の農業に活かされるとともに、耕畜連携による地域資源循環型の農畜産業を実践しし、地域とのつながりを深めています。元気な牛を育て、新鮮な乳製品を提供することを目指し、日々、取り組んでいます。

出荷	上旬	中旬	下旬	出荷先
始め				
終わり		周年		広島県酪農業協同組合

⓲いちご

西村農園（西村 開 さん）

「希少価値はありますが、収量が少ないのでPRは控えています」

人気が高いのに、たくさん作れないとは残念です。
久井町でいちごに出会うとは思ってもみませんでした。品種は紅鮮と甘味のバランスが良い「とちおとめ」を栽培しています。
ハウス内では近頃激減したといわれるミツバチ（受粉のために使う）にも久々に出会えました。

出荷	上旬	中旬	下旬	出荷先
始め		12月		
終わり			5月	直売・JAやっさぶれあい市場・道の駅みはら神明の里など

⓳自然薯

せんチャンファーム(仙石 八千代 さん・仙石 一博 さん)

「健康にも美容にもオススメです」

とにかく手間隙がかかるという自然薯の栽培・収穫。建設業の副業として始めましたが、もはや、“せんチャンファーム”で通っています。すりおろしてご飯にかけても、味噌汁に混ぜても、スライスにしてもおいしい自然薯。加工品としての効用も効き、自然薯入りそうめん、自然薯そば、自然薯アイスなどもオススメです。

せんチャンファーム 検索

出荷	上旬	中旬	下旬	出荷先
始め				
終わり		周年		道の駅みはら神明の里、道の駅よがんず白竜、直売、ネット販売など

⓴にんにく

ドイ グランホ（土居 桂子さん・土居 富弘 さん）

「一大産地化が夢」

退職前に、にんにくと出会い10年余。この道一筋に山中野の一角で、化学肥料も使用せず、にんにくの栽培に励んできました。にんにくを熟成酸醸させたものが「黒にんにく」です。試食すると臭みは無く、柔らかく、甘くて、とてもにんにくとは思えない食感。健康食品として太鼓判を押しています。共に、にんにくを愛し、共に、にんにく栽培に汗を流す生産者仲間が増えることを願っています。

じゃんぼにんにく ドイ グランホ 検索

出荷	上旬	中旬	下旬	出荷先
始め				
終わり		周年		道の駅みはら神明の里、ネット販売など

㉑ぶどう

新庄農園(新庄 實雄 さん)

「とにかくおいしいものを」

ピオーネをはじめ18品種の栽培・出荷に取り組んでいます。根の分布域を制限する栽培方法である「根域制限栽培」により、高品質なぶどうの生産に成功しています。
このため、東京をはじめ市外からの注文も多く、贈答品としても人気があります。直売所も完売らしいのでお見逃しなく！

出荷	上旬	中旬	下旬	出荷先
始め	8月			
終わり			10月	直売

㉒えごま（えごま茶）

平田 和美 さん

「久井にも名産が欲しい」

「久井は世羅までの通過点にすぎず、素通りされるのがさみしい。何か特産品を」。この思いが行動の原動力となり、地域がえごまを植えるきかっかけになったそうです。
今では、平田さんお一人がえごまの栽培に取り組んでいます。焼き火から発想を得たというえごま茶は、生活習慣病予防にも自信あり。「えごまでみんなが健康に。そして自分も元気に。えごま作りは生きがいです」。

出荷	上旬	中旬	下旬	出荷先
始め				
終わり		周年		JAやっさぶれあい市場、道の駅みはら神明の里、
				よがんず白竜、クロスロードみつぎ、TAU、直売など

㉓シクラメン ガーデンシクラメン

津川農園(津川 聡 さん)

「踏ん張って20年。やっと自分の型ができました」

シクラメンをメインに10種類の花の栽培に取り組んでいます。コロナ禍によるステイホームの中で、観賞用の小鉢のものが良く売れているそうです。コロナで大変な中、ちょっとした癒しになるのかもしれません。お父さんのように、きれいに花を作るのが目標だった津川さん。やっと自分の型にたどり着き、陣りに満ちていました。

●シクラメン

出荷	上旬	中旬	下旬	出荷先
始め	11月			直売、
終わり			12月	産直市場など

●ガーデンシクラメン

出荷	上旬	中旬	下旬	出荷先
始め	10月			直売、
終わり			12月	産直市場など

㉔ねぎ

(農)アグリンク池迫(池迫 敏春 さん)

「米より手間はかかるが・・・」

減反政策の一環として、知人の紹介で始めたというねぎの栽培。１町ほどの圃場で関東に多い白ネギ（２品種）に取り組んでいます。JAも後押しする広島県産白ネギの栽培・出荷は、経営も安定しているとのこと。鍋料理にオススメ。

出荷	上旬	中旬	下旬	出荷先
始め	11月			
終わり			1月	JA、甲山いきいき村、イオンなど

㉕ハーブ

梶谷農園(梶谷 譲 さん)

「マップに載ると困ります・・・」

ハーブなどの栽培・出荷を手がけています。外国の屋付きレストランにまで届いているという新鮮なハーブ。久井から世界を相手に活躍されています。かねてから、話題性のある先進的な農家さんとして噂には聞いていましたが、何だか、近くて遠い存在のようでした。今回の取材で、ハウス内の見学やハーブの試食などをさせていただき、一気に距離が縮まった気がします。

梶谷農園 検索

出荷	上旬	中旬	下旬	出荷先
始め				
終わり		周年		市内のレストラン、ネット販売など

㉖ブロイラー

(農)羽倉ブロイラーファーム(梶谷 剛 さん)

「全国から注文が来ます」

おじいさんの代から、実に50年近くにわたってブロイラー（肉用鶏）の飼育・出荷に取り組んでいます。健康な鶏を育てるために、抗生物質が入っていない餌を与えたり、飼育密度が高くならないようにするなど、飼育には気を配っています。鶏肉をけむりで香ばしく燻製にしたのがスモークチキン。無添加で、クリスマスシーズンに大人気の商品です。さわやかな高原のまちから生まれた手作りスモークチキン。一度食べたらあなたもファンに！

羽倉ブロイラーファーム 検索

出荷	上旬	中旬	下旬	出荷先
始め				
終わり		周年		生肉…西日本のスーパーなど　スモークチキン…ネット販売、直売、
				道の駅みはら神明の里、よがんず白竜、空の駅オーチャードなど

㉗直売所「猫の里」

羽倉猫谷のみなさん

「毎週日曜日午前7時30分～11時（商品が無くなり次第閉店）」

地域の旬の野菜などを持ち寄り販売しています。冬に訪れると、レンコン、白ネギ、レモン、ゆず、白菜、だいこんなどが並んでいました。夏には深町から桃も届くそうです。
近くの「健康の泉」は、「無料でおいしい水を汲める」と遠方からのリピーターも多いそうです。

出荷	上旬	中旬	下旬	出荷先
始め				
終わり		周年		直売

㉘トマト

中田 淳一 さん

「聖域産のある久井の気候は、何でもおいしい物ができます」

30年以上も専業農家としてトマトの栽培に取り組んできました。食欲の落ちた夏にも「中田さんちのトマトが元気のもと」と根強い人気です。ぜひ、久井育ちの甘くておいしい完熟トマト「桃太郎」をどうぞ。

出荷	上旬	中旬	下旬	出荷先
始め	7月			
終わり			11月	市内の市場、地元の農産物直売所など